

生産計画書

- 1 農産物名(品種名) 水稻(普通期：一般にこまる)
- 2 栽培区分 特別栽培農産物(節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減)
- 3 適用地域(市町名) 西予市 宇和町
- 4 作型 水稻(普通期：にこまる)

作型	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稻：普通期 (にこまる)				○	△				□			

○は播種    △は定植    □は収穫    ■は出荷

5 施肥管理計画

施用時期		減化学肥料栽培			栽培基準による10a当たり化学合成窒素成分量(kg/N) ②	削減率 (1-①/②)×100 (%)
栽培ステージ	標準時期	使用資材名	10a当たり施用量(kg)	10a当たり窒素成分量(kg/N)		
土作り	3月上旬～4月下旬	鉄強化美土里	60			
育苗(自家)	5月中旬～移植日	キセキ育苗(粒状)培土	70	0.02	0.02	
基肥	5月中旬～5月下旬	水稻用エコ有機粒状278	30	3.60	1.78	
穂肥	8月中旬～8月下旬	水稻用エコ有機粒状278	30	3.60	1.78	
計			190	7.22	3.58	8.0

前作からの変更点無し

6 病害虫・雑草防除計画

施用時期		減農薬栽培				栽培基準 による 10a当 たり農薬 使用 成分数 ②	削減率 (1-①/ ②×100) (%)
栽培 ステージ	標準時期	対象病害虫 及び雑草防除	使用農薬名① (成分数)	使用基準	代替技術		
種子消毒	4月上旬	シガレセンチュウ			種子更新		
	4月中旬	ばか苗病・いもち病 ・もみ枯細菌病 ・苗立枯病	テクリートCフロアブル (成分1剤)	希釈倍数200倍 使用時期浸種前 24時間種子浸漬 使用回数1回			
定植	5月上旬	いもち病 ・ウシカ類・ツマグロヨコバイ ・イネミスズムシ	デジタルコトトップアクト タラ箱粒剤 (成分2剤)	使用量50g/1箱 使用時期 移植前3日～ 移植当日 使用回数1回			
	5月上旬 ～中旬	水田1年生雑草 ・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ ・ミスガヤツリ・ウリカワ ・ヒルムシロ・セリ・クログワイ ・オモダカ・コウキヤカラ ※多年生イネ科雑草 ※①のみ	①カウントダウン 1キロ粒剤 または ②カウントダウン フロアブル (成分3剤)	使用量 ①1kg/10a・湛水散布 ②500ml/10a・原液湛水 散布 使用時期 ①②移植直後～ヒエ3葉 期 (但し、移植後30日迄) 使用回数1回			
	1 6月上旬 ～中旬	水田1年生雑草 (イネ科を除く) ・マツバイ・ホタルイ ・ウリカワ・ミスガヤツリ ・ヘラオモダカ ・クログワイ・シズイ	①バサケラン粒剤 または ②バサケラン液剤 (成分1剤)	使用量 ①3～4kg/10a ②500～700ml/10a 使用時期 ①移植後15日～55日(但 し、収穫60日前まで) 使用回数1回 ②移植後15日～55日(但 し、収穫50日前まで) 使用回数2回以内 落水散布又はごく浅く湛 水して散布			
	2 6月上旬 ～中旬	ノビエ キシユウスズメノヒ エ アゼガヤ	①クインチャー1キロ粒 剤 または ②クインチャーEW または ③クインチャージャンボ (成分1剤)	使用量 ①1kg/10a ②100ml/10a ③小包装20個/10a 使用時期 ①移植後7日～ヒエ4葉期 (但し、収穫30日前まで) 使用回数2回以内、湛水 散布 ②移植後20日ヒエ6葉期 (但し、収穫30日前まで) 使用回数2回以内 ③移植後7日～ヒエ4葉期 (但し、収穫30日前まで) 水田に小包装のまま投げ 入れる、使用回数2回以 内			1 または 2 または 3

	3 6月上旬 ～中旬	水田1年生雑草 (イネ科を除く) ・マツバイ・ホタルイ ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ ・ヘラオモダカ ・セリ・クログワイ・シ ズイ・キシユウスズメ ノヒエ	クンチャーバ <sup>®</sup> SME液 剤 (成分2剤)	使用量 1000ml/10a 使用時期 ①移植後15日～ル <sup>®</sup> E5葉 期(但し、収穫50日前ま で) 使用回数2回以内 落水散布又はごく浅く湛 水して散布		
	6月中旬～ 7月中旬 (出穂前)	畦畔雑草刈り (耕種的雑草防除)  いもち病・紋枯病 ・ウカ類・メイユウ ・ツマグ <sup>®</sup> ロヨコバイ ・カラムシ類			・畦畔の 草刈 り、疎 植栽培 による 健全な 稲作り	
	7月下旬 (出穂後)	ウカ類・カラムシ類 ・ツマグ <sup>®</sup> ロヨコバイ	スタークル液剤10 (成分1剤)	無人ヘリ防除 希釈倍数8倍 散布量 0.8ℓ/10a 使用時期 収穫7日前迄 使用回数3回以内		
	収穫予 定8/20 ～9/20	9月上旬～ 9月中旬  9月下旬～	収穫  収穫後水田耕起 (耕種的雑草防除)			・秋口の 耕起に よる雑 草種子 の除去 対策
	計		9 成分			18 成分 50.00%

前作からの変更点無し

## 7 その他資材

## 8 乾燥調整計画(米、麦、豆類及び茶で乾燥調整を行う場合に限る。)

乾燥調整担当者	施設名			
	職氏名	井上 裕也		
	連絡先	愛媛県西予市宇和町岩木3513 (TEL)0894-62-4287		
乾燥調整施設	施設名	井上 裕也		
	所在地	愛媛県西予市宇和町岩木3513 (TEL)0894-62-4287		
実施時期	原材料数量(kg)	乾燥調整後の見込み数量(kg)	歩留(%)	
令和3年10月中旬 ～11月中旬	6,716	4,500	67.0	